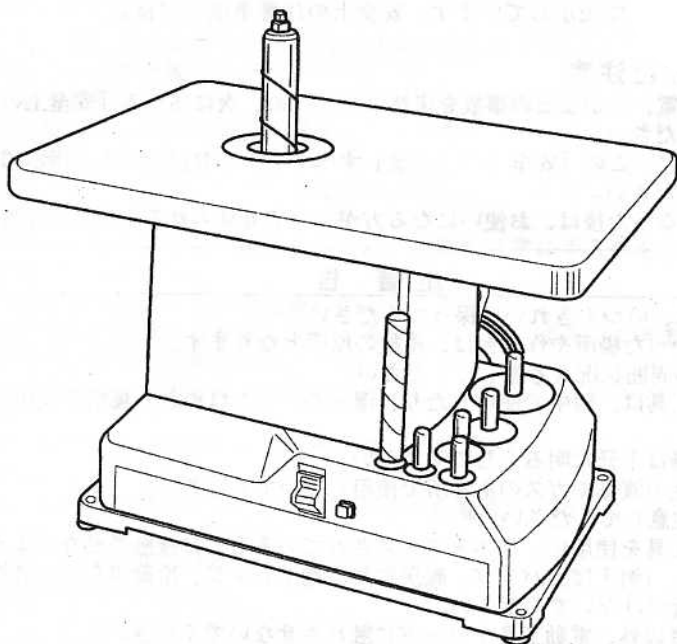


# RYOBI®

## スピンドルサンダ OSS-450

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。  
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



### もくじ

・安全上のご注意	1～4
・用途、付属品、仕様	4
・各部の名称	5
・ご使用前に	5
・操作方法	6～8
・別販売品について	9
・保守と点検	10

□ 二重絶縁

このたびは、リョービスピンドルサンダをお買上げいただきありがとうございます。  
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

## 注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## ■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### △ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
  - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 常識を働かせてください。
  - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
  - ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・ 本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・ 修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術がない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## スピンドルサンダご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、スピンドルサンダをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

### △ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。
  - ・ けがの原因になります。
3. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または、リョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

4. 金属の研削はしないでください。
  - ・研削中に発生した火花により火災の原因になることがあります。
5. スリーブペーパーと口金の組合わせを間違えないようにしてください。
  - ・隙間が大きいと指が巻込まれたり材料が挟込まれたりする事があり、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、スピンドル部や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

### △ 注 意

1. ペーパーや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にないと、はずれたり、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

## ■ 用途

- 木材表面の研削
- プラスチックの研削

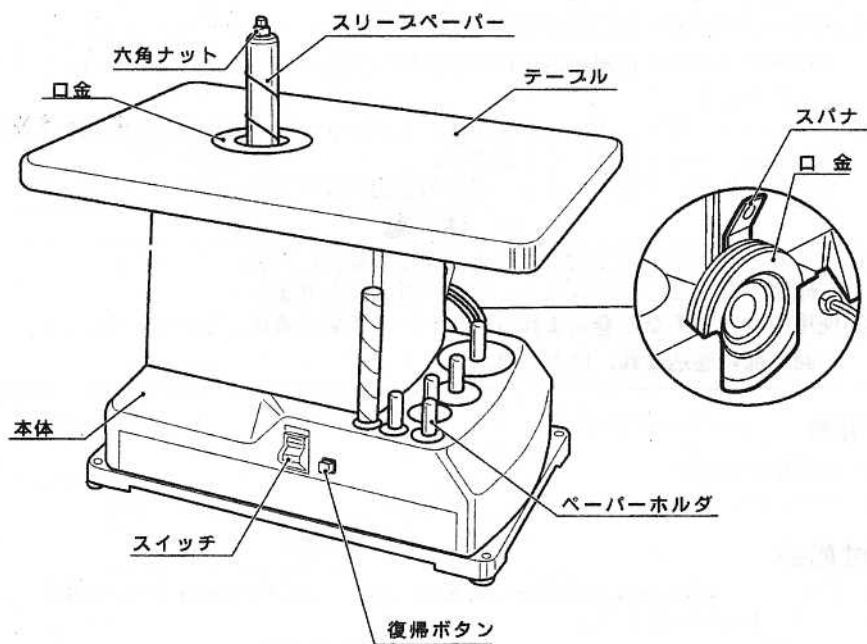
## ■ 付属品

- 口金…………… 86.5 mm, 63.5 mm, 50.8 mm, 39.1 mm, 25.4 mm ……各1
- スピンドルワッシャ (上)
  - 大……………50.8 mm 及び 76.2 mm 用……………1
  - 中……………25.4 mm 用……………1
  - 小……………12.7 mm 用……………1
- クッション……………4
- 板スパナ……………1
- スリーブペーパー……………25.4 mm, 12.7 mm ……各1
- スピンドルラバー……………25.4 mm……………1
- 集じんアダプタ……………1
- 固定バンド……………1
- \* 口金 39.1 mm、スピンドルワッシャ (上) 中、スリーブペーパー 25.4 mm、スピンドルラバー 25.4 mm は本体に組込まれて出荷しています。

## ■ 仕様

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源……………単相 100 V</li> <li>・電流……………4.8 A</li> <li>・消費電力……………420 W</li> <li>・上下ストローク数……………58 回/分</li> <li>・上下ストローク量……………15.9 mm</li> <li>・スリーブペーパー               <ul style="list-style-type: none"> <li>直径……………12.7 mm～76.2 mm</li> <li>高さ……………114.3 mm</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大研削高さ……………93.7 mm</li> <li>・無負荷回転数……………1,800 回/分</li> <li>・テーブル寸法……………508 mm x 356 mm</li> <li>・スピンドル直径……………12.7 mm</li> <li>・機体寸法 (タテ×ヨコ)……………356 mm x 508mm</li> <li>・重量……………12 kg</li> <li>・絶縁方式……………二重絶縁</li> </ul> |
|---|--|

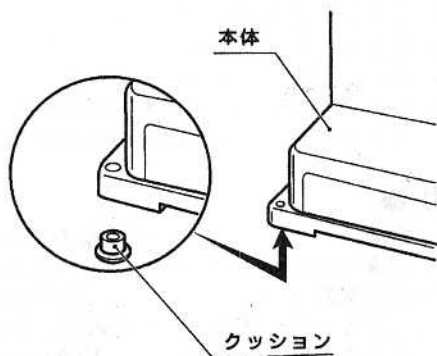
## ■各部の名称



## ■ご使用前に

### ●クッションの取付け

本体の底の穴にクッションを合わせ、さし込みます。(4箇所)



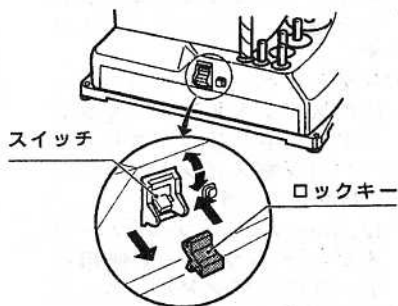
## ■操作方法

### ●スイッチ

- △警告**
- ・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
  - ・作業終了後、保管、部品交換等使用しないときは、スイッチを切りロックキーを抜いてください。ロックキーはなくさないように保管してください。

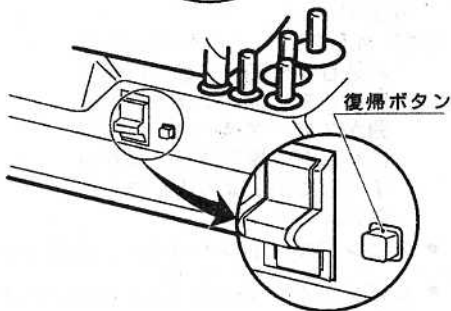
- 本機はロックキー付スイッチを採用しています。スイッチ操作は、ロックキーをさし込み上下に切替えて行ないます。ロックキーがさし込まれていなければスイッチはONになりません。

(注) ロックキーは出荷時、スイッチにセットされています。



### ●復帰ボタン

- 本機は過負荷による各部の損傷を保護する回路が入っています。保護回路が働きますと、電源がしゃ断され、モーターが停止し、復帰ボタンが飛び出します。
- 保護回路の解除は、スイッチをOFFにした後、過負荷の原因を取除き、復帰ボタンを押込んでください。

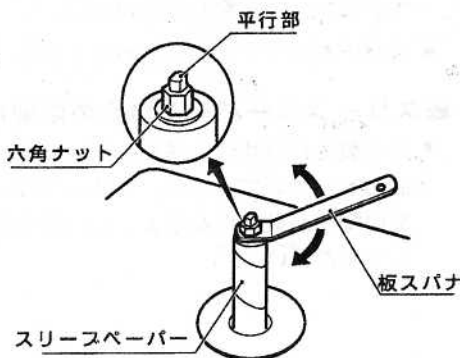


### ●スリーブペーパーの取換え

- △警告**
- ・スリーブペーパーの取換えの時は必ずスイッチを切り、さし込みスラグを電源より抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

#### (取り外し)

- スピンドルに取付けられているスリーブペーパーを手で持ち固定して、付属品の板スパナで六角ナットをゆるめてください。もしナットが堅く締まっていたりスピンドルとスリーブペーパーが空回りする場合にはスピンドル先端の平行部(幅6.4mm)をお手持ちのスパナ等で固定してナットをゆるめてください。
- 六角ナット、スピンドルワッシャ(上)、スリーブペーパー、スピンドルラバー(12.7mmはスピンドルラバーを使用しません)、口金を取外します。
- スピンドルワッシャ(下)を取外してたまっている研削屑を掃除します。



### (取付け)

- スピンドルワッシャ (下) を取付けます。

(注) スピンドルワッシャ (下) の羽根 (放射状の線) のはいた面を必ず下に向けて取付けてください。この羽根は研削屑を吐出口から吐出し、たまるのを防ぎます。研削屑が吐出口にたまると、スリーブペーパーの上下運動が止まることがありますのでスピンドルワッシャ (下) は必ず正しく取付けてください。

- 口金とスリーブペーパーの隙間が最も少なくなるように口金を選び、定盤にはめ込みます。

- スリーブペーパーに合った寸法のスピンドルラバーをスピンドルにさし込み、スリーブペーパーをスピンドルラバーにはめ込みます。

12.7mmのスリーブペーパーはスピンドルラバーを使用せず、直接スピンドルにさし込みます。

(注) もしスリーブペーパーをはめ込むのが堅くて難しい場合には、スピンドルラバーの周囲かスリーブペーパーの内側にパウダー等を塗り、滑りやすくしてからはめ込んでください。

- スピンドルワッシャ (上)、六角ナットをはめ込みます。

- スピンドルワッシャ (上) は以下のように使い分けてください。

(小) 12.7mmスリーブペーパー用

(中) 19 mm, 25.4 mm, 38.1 mm スピンドルラバー用

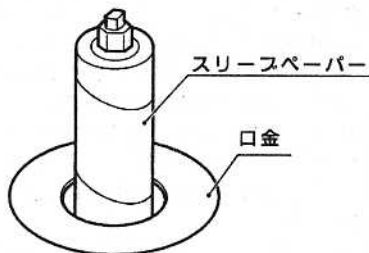
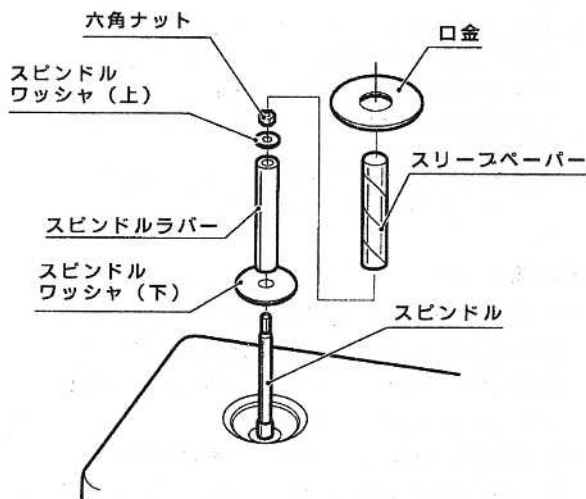
(大) 50.8 mm, 76.2 mm スピンドルラバー用

- スリーブペーパーを手で持ち固定して、付属品のスパナで六角ナットを締めます。スピンドルラバーがふくれてスリーブペーパーを固定する程度に締付ければ充分です。締めすぎないように注意してください。

- スパナをハウジングに納めてください。

### ● スリーブペーパーと口金の隙間について

- この製品には寸法の異なった口金が五枚、付属品として付いています。スリーブペーパーと口金の隙間が最小になるように口金を選んで使用してください。





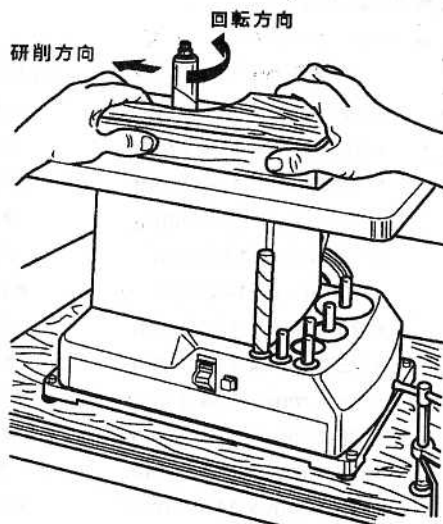
## ●研削作業

### △警告

- ・金属の研削はしないでください。研削中に発生した火花により火災の原因になることがあります。
- ・スリーブペーパーと口金の組合わせを間違えないようにしてください。隙間が大きいと指が巻込まれたり材料が挟込まれたりする事があり、けがの原因になります。

(注) スリーブペーパーなしの状態で作業しないでください。スピンドルラバー破損の原因になります。

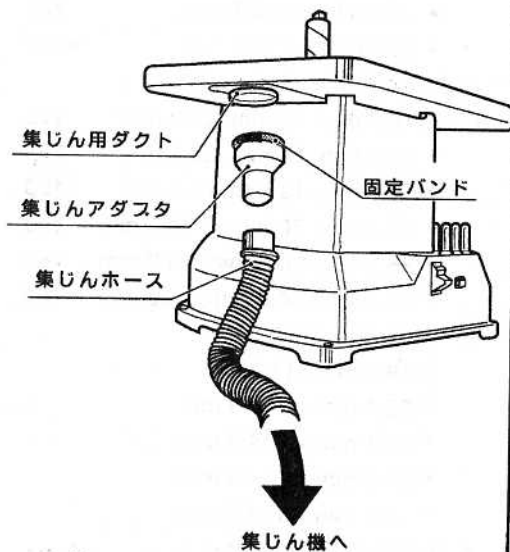
- ・スイッチをONにし、材料をスリーブペーパーに静かに当てて矢印の方向に研削します。



## ●集じん装置

- ・テーブル下の集じん用ダクトに集じんアダプタを取付ければ集じん機につながることができます。
- ・集じんアダプタを集じん用ダクトにさし込み、固定バンドで締付けてください。
- ・集じんアダプタにはφ38mmの集じんホースが接続できます。

(注) 集じん機をつないで作業している場合でも、時々口金を外して集じん口の中を掃除してください。



## ■別販売品

### ● スリープーパー

(ペーパーサイズ)

(粒度)

- |                      |      |      |
|----------------------|------|------|
| • 12.7 mm x 114.3 mm | #50  | 3 本組 |
| • 12.7 mm x 114.3 mm | #80  | 3 本組 |
| • 12.7 mm x 114.3 mm | #150 | 3 本組 |
| • 19 mm x 114.3 mm   | #50  | 3 本組 |
| • 19 mm x 114.3 mm   | #80  | 3 本組 |
| • 19 mm x 114.3 mm   | #150 | 3 本組 |
| • 25.4 mm x 114.3 mm | #50  | 3 本組 |
| • 25.4 mm x 114.3 mm | #80  | 3 本組 |
| • 25.4 mm x 114.3 mm | #150 | 3 本組 |
| • 38.1 mm x 114.3 mm | #50  | 2 本組 |
| • 38.1 mm x 114.3 mm | #80  | 2 本組 |
| • 38.1 mm x 114.3 mm | #150 | 2 本組 |
| • 50.8 mm x 114.3 mm | #50  | 2 本組 |
| • 50.8 mm x 114.3 mm | #80  | 2 本組 |
| • 50.8 mm x 114.3 mm | #150 | 2 本組 |
| • 76.2 mm x 114.3 mm | #50  | 1 本入 |
| • 76.2 mm x 114.3 mm | #80  | 1 本入 |
| • 76.2 mm x 114.3 mm | #150 | 1 本入 |
- スリープーパーセット
- |                             |      |        |
|-----------------------------|------|--------|
| • 12.7 mm, 19 mm, 25.4 mm   | #50  | 各 1 本組 |
| • 12.7 mm, 19 mm, 25.4 mm   | #80  | 各 1 本組 |
| • 12.7 mm, 19 mm, 25.4 mm   | #150 | 各 1 本組 |
| • 38.1 mm, 50.8 mm, 76.2 mm | #50  | 各 1 本組 |
| • 38.1 mm, 50.8 mm, 76.2 mm | #80  | 各 1 本組 |
| • 38.1 mm, 50.8 mm, 76.2 mm | #150 | 各 1 本組 |
- スピンドルラバー
- 19 mm x 114.3 mm
  - 25.4 mm x 114.3 mm
  - 38.1 mm x 114.3 mm
  - 50.8 mm x 114.3 mm
  - 76.2 mm x 114.3 mm
- スピンドルラバーセット
- |                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| • 19 mm, 38.1 mm, 50.8 mm, 76.2 mm | 各 1 個組 |
|------------------------------------|--------|

## ■保守と点検

### △ 警告

- ・保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

### ●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もしゆるみがある場合は締めなおしてください。

### ●使用後の手入れ

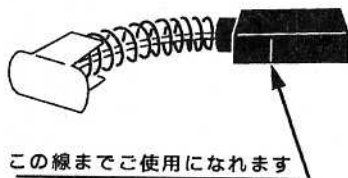
- ・油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また水洗いは絶対にしないでください。

### ●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

### ●カーボンブラシ

- ・カーボンブラシは全長の1/3まで使用出来ますが、時々カーボンブラシを外して点検し、新しいカーボンブラシと交換して下さい。短いカーボンブラシをそのまま使っておりますとモータ焼損の原因になることがあります。
- ・この製品のカーボンブラシはブラシキャップと一体になっています。製品底面のカバーを外してカーボンブラシを固定しているネジをゆるめれば取外すことができます。



### ●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
- ・その他、部品ご入り用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げ販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のためお断りなく仕様・外観等を変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社